

福祉サービス第三者評価項目（障害福祉サービス）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
I 障害者・児施設	1 利用者の尊重	(1) 利用者の尊重	1	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	a	
			2	利用者の主体的な活動を尊重している。	a	
			3	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	a	
			4	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	a	
	2 日常生活支援	(1) 食事		5	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	a
				6	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	a
				7	喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	a
		(2) 入浴		8	入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	a
				9	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	a
				10	浴室・脱衣場等の環境は適切である。	a
		(3) 排泄		11	排泄介助は快適に行われている。	a
				12	トイレは清潔で快適である。	a
		(4) 衣服		13	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	a
				14	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	a
		(5) 理容・美容		15	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	a
				16	理髪店や美容院の利用について配慮している。	a
		(6) 睡眠		17	安眠できるように配慮している。	b
		(7) 健康管理		18	日常の健康管理は適切である。	a
				19	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	a
				20	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	a
		(8) 余暇・レクリエーション		21	余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	a
		(9) 外出、外泊		22	外出・外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a
		(10) 所持金・預り金の管理等		23	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	a
				24	新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	a
	25			嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	a	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 第2ひかり学園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 障害福祉サービス			
IV-1 利用者の尊重			
IV-1-(1) 利用者の尊重			
IV-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	1	a	利用者が落ち着いた生活を送るためには意思や希望を正しく理解することが大切と考えており、そのために会話だけに頼らないコミュニケーション手段を確保している。マカトンサイン(言語とコミュニケーションの訓練法)・絵カードの利用や数を数えて落ち着かせるなど、一人ひとりに合わせている。
IV-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	2	a	利用者の自治会「皆の会」が月1回開かれ意向を確認している。又、各種行事では利用者の積極的な関わりも多く見られた。家族も参加する行事・地域の行事・障がい者が集まる行事など、幅広い活動を行っている。
IV-1-(2)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	3	a	事業所での基本姿勢は「俵つ(まつ)支援」で、これは現在も継続している。担当制で利用者を深く理解した上で支援する仕組みに加え、複数の職員で複数の利用者を見る仕組みがあり、見守りと支援を必要に応じて行う体制がとられている。この的確な判断が利用者の笑顔や落ち着きにつながっていると思われる。
IV-1-(2)-④ 利用者のエンパワメント(力をつけること)の理念にもとづくプログラムがある。	4	a	生活支援に加え自活訓練にも力を注いでおり、ひかりホームと呼ぶ5箇所のケアホームが用意されている。昨年度2名、今年度も2名が地域移行した。施設内でも調理場・洗濯室・畑などでの作業や買い物・体操・ウォーキング・ダンスなど個々に合わせた支援が行われている。
IV-2 日常生活支援			
IV-2-(1) 食事			
IV-2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	5	a	職員が摂食指導の先生の指導を受けたり、栄養士・看護師も交えた給食会議を開き、サービス実施計画をたてている。利用者一人ひとりの栄養量・食事形態・介助方法などを把握し食事を提供している。
IV-2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	6	a	献立は栄養士が作成し、厨房で調理している。利用者アンケートによるリクエスト献立・誕生会・松花堂弁当などで変化も持たせている。温冷配膳車を導入したことで、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま食べることが可能になり、好評である。
IV-2-(1)-③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	7	a	利用者がゆっくり食事するには気分が落ち着いていることが大切と考え、そのため座席配置には気を配っている。また、着席順も考慮し、職員が誘導している。4回の食事に同席したが、利用者が落ち着いていた。
IV-2-(2) 入浴			
IV-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	8	a	入浴介助はマニュアルとともに一人ひとりの身体状況や体調に合わせた支援方法があり、職員がしっかり把握している。尊厳にも配慮し、同性介助を行っている。
IV-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	9	a	循環風呂なので毎日の入浴を基本としているが無理強いはず、対応は柔軟である。入浴時間の集中による混雑と事故を防止するため班を編成し、班単位でゆっくり入れるようにした。

評価基準		評点	コメント
IV-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。		10	a 浴室・脱衣場は温度管理・換気などの他、入浴器具の配置やプライバシー保護にも配慮している。
IV-2-(3) 排泄			
IV-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。		11	a 排泄介助は確認表を利用して、個々に合った方法で行っている。排便は数日以上にわたる経過観察となる場合もあるので、確認表だけに頼らず、途中の与薬量も含め、ミーティングにおいても引き継ぎを行っている。
IV-2-(3)-② トイレは清潔で快適である。		12	a 1日2回清掃を行っているが、その間の汚れを放置しない方法として、トイレ誘導時に職員が雑巾を持参することにした。その場ですぐ解決でき、清潔維持に効果が見られた。
IV-2-(4) 衣服			
IV-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。		13	a 各居室には収納が備え付けてあり、利用者や家族が選んだ衣服を収納している。その日着るものを自分で選んだり、余暇時間に自分できれいにたたんだりしていた。
IV-2-(4)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。		14	a 夜間はパジャマや部屋着に着替えている。ボタン付けなどは職員が対応し、時間のかかる補修は「保護者環境整備の日」などに家族の協力を得ている。
IV-2-(5) 理容・美容			
IV-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。		15	a 髪型や化粧については利用者の希望を聞いている。一時帰宅した際にカラーリングする利用者もあり、本人の意思を尊重している。
IV-2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。		16	a 理容店のボランティアが2ヶ月に1回訪れ、利用者にとって落ち着く場所で散髪してくれている。一時帰宅の際に自宅近くの理美容店を利用する人もいる。
IV-2-(6) 睡眠			
IV-2-(6)-① 安眠できるように配慮している。		17	b 消灯後の巡回やトイレ誘導が行われている。廊下に出て来たり、リビングなどで過ごしている利用者もいたが、職員は無理に寝かせようとはせず、利用者の気持ちに寄り添った支援をしていることが伺えた。しかし、居室にカーテンの無い部屋も見られるので、朝の光や寒さなど、安眠の環境に対して、他の方法を含め再考を期待したい。
IV-2-(7) 健康管理			
IV-2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。		18	a 毎日の健康チェックはそれぞれ記入し、ミーティングでもしっかり引き継ぎしている。内科の定期受診は月2回で、電話で家族にも伝えている。薬を変更するときは処方箋や薬の説明書を家族に郵送している。

評価基準		評点	コメント
IV-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。		19	a 健康面に変調があった場合の対応は、マニュアルに詳しく書かれており、それに従って対応することになっている。緊急で受診する際の一人ひとりの書類も用意している。
IV-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。		20	a 昨年12件あった与薬ミスを減らすべく、全職員で取り組んでいる。椅子にすわってもらう・落ち着いた環境で薬に集中できるようにする・錠剤を粉にするなどのアイデアを出し合い、口の中に薬が残っていないことを確認するようにしたところ与薬ミスが減った。
IV-2-(8) 余暇・レクリエーション			
IV-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。		21	a 夕食後などの余暇時間はテレビ・衣類の整理やのんびりしたり、思い思いの過ごし方をしている。利用者の希望で町のイベントで披露するダンスの練習も行っていた。毎月の園内購買(園内で菓子等を買える)を楽しみにしている利用者も多い。
IV-2-(9) 外出、外泊			
IV-2-(9)-① 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。		22	a 希望者5~6名が実家への帰省の際、定期的に外泊している。外泊がかなわない利用者は外出や面会などで家族との触れ合いの機会が継続できるよう支援している。
IV-2-(10) 所持金・預かり金の管理等			
IV-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られている。		23	a 小遣い帳をつけて自分で管理している利用者もいるが、ほとんどは職員が管理している。施設内の自動販売機で飲み物を買ったり、園内購買や買い物で出かける際に自分で支払い、家族への報告も行われている。
IV-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。		24	a テレビを居室に置いている利用者もいるが、余暇時間にリビングで見ることも可能である。雑誌を定期購読する場合は地域の書店から届けてもらっている。
IV-2-(10)-③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。		25	a 喫煙は時間・場所等の約束を守れば可能である。飲酒は医師とも相談の上、忘年会などの機会に実現している。